

# 令和5年度 国語科「言語文化」シラバス

北部農林高等学校 全日制課程

科目	言語文化	単位	1	学年	2	担当	北部農林高等学校 国語科
使用教科書	新編 言語文化 (数研出版)		副教材等		「新編言語文化 準拠ワーク」(数研出版) 新装版漢字検定7級～2級漢字トレーニング (いっずな書店)		

学習の到達目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

### 評価の方法

評価はABC観点別評価で行う。定期考査、臨時考査(漢字小テスト、朗読テスト等)、提出物(ワークシート、鑑賞文、感想文等)などを評価対象とする。

### 授業の形態

園芸工学科、林業緑地科、食品科学科はそれぞれ一斉授業。熱帯農業科、生活科学科は習熟度別1クラス2展開で行う。

### 学習方法

年度の最初の授業で、「言語文化」について説明し、評価の方法等を説明する。

### その他留意点

「新装版漢字検定7級～2級 漢字トレーニング」(いっずな書店)の活用・国語辞典の活用・図書館利用・漢字検定の受検奨励。

学期	月	時数	単元名/題材名	評価規準		言語活動
1	4	2	現代にも生きる教え/ 高名の木登り(徒然草)	知識・技能	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	本文の教訓が当てはまる自分の体験について話し合う。
				思考・判断・表現	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	
				主体的に学習に取り組む態度	進んで本文を自分と引きつけて捉え、学習の見通しをもって話し合いに参加しようとしている。	
	5	2	現代にも生きる教え/ ある人、弓射ることを習ふに(徒然草)	知識・技能	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	文章中の表現の特色について話し合う。
				思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に漢文調の表現について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	
2	2	現代にも生きる教え/ 丹波に出雲といふ所あり(徒然草)	知識・技能	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	登場人物の行動の動機について話し合う。	
			思考・判断・表現	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		



2			思考・判断・表現	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	格言に関連する自分の体験を発表する。
			主体的に学習に取り組む態度	漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	
3	3	「漢詩を味わう」 (中国の漢詩・日本の漢詩)	知識・技能	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	独特のリズムを味わいながら音読する。 作品中の表現をもとに、日本文化と中国文化の類似点・相違点を考察しまとめる。
			思考・判断・表現	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	
			主体的に学習に取り組む態度	日本で書かれた漢詩を調べて発表する活動において、粘り強く課題に取り組んでいる。	

単位数：1 単位 年間授業時数：35 時間